



## ヒガンバナ

ヒガンバナ科 花期9月

秋、彼岸のころ高さ30～50cmの花茎を伸ばし、反り返ったような形の赤色の花をつける。花が枯れた後、長さ30～60cm濃緑色の線形の葉を伸ばし、翌春には枯れる。土手やあぜに群生する姿が見られる。白色の花をつけるものは、別種のシロバナヒガンバナである。



## ミゾソバ

タデ科 花期8～10月

高さ0.3～1m。茎には下向きのとげがある。葉は長さ4～10cmの矛型で、基部は耳状に張り出し、牛の額を思わせる。小



小さな花がまとまってつく

さな花が枝先にまとまってつき、花の先端は淡紅色、下部が白色。水辺など湿ったところで見られる。



## シロザ

ヒユ科 花期9～10月

外来植物〈ユーラシア〉

高さ0.6～1.5m。若葉や葉の裏面は、白い粉状のものにおおわれ、白っぽく見える。花は黄緑色で小さく穂状に集まってつく。道ばたや空き地に生え、若葉は食べられる。若葉が紅紫色のアカザは、シロザより花期が少し早い。



アカザの若葉